



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月23日
東

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 隆二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務本部長 (氏名) 三輪 美之 (TEL) 03 (6907) 7888
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,375	4.7	76	54.5	77	72.5	720	—
2020年3月期第2四半期	3,223	0.5	49	402.7	45	388.4	48	395.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 726百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 52百万円(227.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	80.40	—
2020年3月期第2四半期	5.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,959	4,548	50.5
2020年3月期	7,938	3,893	48.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,525百万円 2020年3月期 3,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	3.9	360	△13.3	260	△37.5	930	174.8	103.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	8,970,111株	2020年3月期	8,970,111株
2021年3月期2Q	3,551株	2020年3月期	3,551株
2021年3月期2Q	8,966,560株	2020年3月期2Q	8,966,560株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や休業要請等により、企業活動、個人消費などあらゆる経済活動が抑制されました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部持ち直しの動きが見られたものの、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など社会資本整備が不可欠で、建設投資は今後も底堅く推移していくことが見込まれております。期初においては新型コロナウイルス感染症の影響により、ボーリング機器関連では主要仕入機材の海外からの輸入遅延が見込まれておりましたが、現段階においてはそのリスクは軽微であると見込んでおります。しかしながら、工事施工関連事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事着工の遅れが発生し通期の完工高が減少されることが予想されております。

このような状況のもと、当社グループでは「2018中期経営計画」（2018年度～2020年度）の最終年度である当期も同中期経営計画に基づき、『①粗利率のアップ、②固定費低減、③売上拡大』を目指して引き続き推進してまいります。

また、当社の社是である「ONE & ONLYの技術構築のために前進」に基づき、当社にしかない「ONE & ONLY」の得意技術をボーリングスペシャリストとしての自負とともに国内・海外の市場に展開し、これまで以上に他社が追従出来ない機械と施工技術の開発を進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の受注は、ボーリング機器関連、工事施工関連ともに前年同四半期を上回りました。また、売上につきましては、ボーリング機器関連では出荷が遅れたため前年同四半期を下回りましたが、工事施工関連において大型工事の完工などにより増加したため全体では前年同四半期を上回りました。

以上の結果、連結受注高は、前年同四半期8.2%増の4,606百万円、連結売上高は、同4.7%増の3,375百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の増加と原価率の低減により粗利益が増加したため、伊勢原新工場用地取得関連の不動産取得税などの諸経費78百万円で増加した販売費及び一般管理費（前年同四半期比96百万円増）も吸収でき、営業利益は76百万円（前年同四半期比54.5%増）、経常利益は77百万円（同72.5%増）となりました。最終利益につきましては、6月の厚木工場売却による特別利益963百万円の計上とこれに関わる圧縮記帳処理などの税務処理を行った結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は720百万円（前年同四半期は48百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）と前年同四半期を大きく上回りました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	4,606	4,259	347	8.2%
売上高	3,375	3,223	151	4.7%
営業利益	76	49	26	54.5%
経常利益	77	45	32	72.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	720	48	672	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

国内での受注は前年同四半期を下回りましたが、海外において中国での大型ボーリングマシン関連と中南米へのODA水井戸機関連の受注が獲得できたため、受注高は前年同四半期と比べると19百万円増加いたしました。売上につきましては国内で主力製品のロータリー・パーカッションドリル（RPD機シリーズ）とその関連部商品の出荷が減少したため、前年同四半期を△6.2%下回りました。

利益面では引き続き特機の高原価をおこさない体制により逐次、個別原価の管理を行っているため改善しておりますが、伊勢原新工場用地関連で販売費及び一般管理費が増加したことにより当セグメントの固定費負担額が嵩んだため、△67百万円のセグメント損失（前年同四半期は△92百万円のセグメント損失）となりました。（但し、伊勢原新工場用地関連の販管費増加分を差し引くと当四半期は△30百万円の営業損失）

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,378	2,359	19	0.8%
売上高	1,627	1,734	△107	△6.2%
セグメント損失 (△)	△67	△92	24	-

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

② 工事施工関連

国内のBM工事（大口径立坑掘削工事）と長尺コントロールボーリング工事の大型受注は減少しましたがトンネル先進調査ボーリング工事、地下水活用工事及びアンカー工事の受注は前年同四半期を上回り、また海外でも大型のBM工事を受注したことにより、受注高は前年同四半期と比べると328百万円増加いたしました。売上高につきましては、北海道・北陸における新幹線・高速道路延伸工事でのトンネル先進調査ボーリング工事、温泉工事の完工は減少しましたが、大型工事である長尺コントロールボーリング工事とアンカー工事の完工が増加したため、売上全体では前年同四半期を上回りました。

利益につきましては、完工高の増加と原価率が△1.0ポイント改善したため、販売費及び一般管理費の固定費増加もカバーし、前年同四半期とほぼ同額の146百万円のセグメント利益を計上いたしました。（但し、伊勢原新工場用地関連の販管費増加分を差し引くと当四半期は185百万円のセグメント利益）

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,228	1,899	328	17.3%
売上高	1,747	1,488	259	17.4%
セグメント利益	146	141	5	4.0%

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,020百万円増加し、8,959百万円となりました。

流動資産は、売上債権（受取手形及び売掛金、完成工事未収入金、電子記録債権）が784百万円減少しましたが、現金及び預金が764百万円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、未成工事支出金、原材料及び貯蔵品）が616百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して559百万円増加し、6,389百万円となりました。

有形・無形固定資産で52百万円の減価償却を実施しました。当期は厚木工場の土地・建物を売却し、代わりに新工場用地として伊勢原の土地を購入したことにより有形・無形固定資産は1,374百万円取得致しましたが、「特定資産の買換えにより資産の圧縮記帳」を実施したことにより繰延税金資産が317百万円減少しました。これらにより固定資産合計では前連結会計年度末と比較して461百万円増加し、2,570百万円となりました。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して365百万円増加し、4,410百万円となりました。

流動負債は、未払消費税等が111百万円減少しましたが、買入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金）が281百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金、リース債務を含む）50百万円が増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して256百万円増加し、3,402百万円となりました。

固定負債は、再評価に係る繰延税金負債が厚木工場土地売却により136百万円減少しましたが、長期借入金（リース債務含む）163百万円、繰延税金負債が65百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して109百万円増加し、1,008百万円となりました。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払い71百万円の減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益720百万円を計上したことにより前連結会計年度末と比較して655百万円増加し、4,548百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して1.7ポイント増加し、50.5%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下の記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ764百万円増加し1,862百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、499百万円の収入（前年同四半期は104百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,038百万円、売上債権の減少678百万円、仕入債務の増加289百万円、前受金の増加64百万円であり、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産売却益963百万円、たな卸資産の増加638百万円、法人税等の支払額44百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、122百万円の収入（前年同四半期は43百万円の支出）となりました。厚木工場の土地・建物を売却し、伊勢原の土地を購入したことにより137百万円の収入であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、142百万円の収入（前年同四半期は180百万円の支出）となりました。長期借入金は、300百万円の調達を行う一方、約定弁済により81百万円を返済いたしました。短期借入金は、150百万円の調達に対し、150百万円を返済し、ファイナンス・リース債務は4百万円を返済いたしました。また、配当金は71百万円の支払いを行いました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響はあることが予想されるものの、本日(2020年10月23日)下記のとおり公表をいたしておりますので、「2021年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

(連結業績予想)

売上高	7,900百万円 (前期比 3.9%)
営業利益	360百万円 (前期比 △13.3%)
経常利益	260百万円 (前期比 △37.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	930百万円 (前期比 174.8%)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,088	1,889,955
受取手形及び売掛金	1,135,109	736,929
完成工事未収入金	918,527	697,760
電子記録債権	375,802	210,148
商品及び製品	1,156,960	1,330,945
原材料及び貯蔵品	386,926	407,502
仕掛品	416,268	741,779
未成工事支出金	95,334	191,390
その他	220,116	182,832
貸倒引当金	△350	△240
流動資産合計	5,829,784	6,389,003
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,928,435
その他(純額)	556,320	469,552
有形固定資産合計	1,635,886	2,397,987
無形固定資産合計	63,170	65,779
投資その他の資産		
繰延税金資産	323,450	5,535
その他	87,969	103,268
貸倒引当金	△2,098	△2,479
投資その他の資産合計	409,320	106,323
固定資産合計	2,108,378	2,570,090
資産合計	7,938,162	8,959,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,115	875,071
電子記録債務	733,004	806,675
工事未払金	143,158	138,526
短期借入金	690,000	690,000
1年内返済予定の長期借入金	121,514	172,092
未成工事受入金	43,187	83,082
未払法人税等	61,993	86,300
製品保証引当金	20,551	19,537
賞与引当金	149,580	158,742
その他	521,425	372,623
流動負債合計	3,146,528	3,402,650
固定負債		
長期借入金	120,266	288,101
役員退職慰労引当金	14,104	15,607
退職給付に係る負債	557,751	573,828
環境対策引当金	1,904	1,306
資産除去債務	12,123	12,198
繰延税金負債	—	65,528
その他	192,179	51,500
固定負債合計	898,329	1,008,071
負債合計	4,044,858	4,410,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,561,677	3,520,248
自己株式	△1,597	△1,597
株主資本合計	3,725,500	4,684,071
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	187,108	△122,253
退職給付に係る調整累計額	△39,045	△36,056
その他の包括利益累計額合計	148,062	△158,310
非支配株主持分	19,740	22,611
純資産合計	3,893,303	4,548,372
負債純資産合計	7,938,162	8,959,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,223,219	3,375,057
売上原価	2,353,501	2,382,279
売上総利益	869,718	992,778
販売費及び一般管理費	820,536	916,772
営業利益	49,181	76,005
営業外収益		
受取利息	12	5
未払配当金除斥益	548	884
受取手数料	—	1,346
受取保険金	90	—
助成金収入	—	2,487
保険解約返戻金	—	25
公園管理料	1,308	1,281
貸倒引当金戻入額	112	119
その他	2,255	3,285
営業外収益合計	4,327	9,434
営業外費用		
支払利息	7,126	6,626
為替差損	44	14
貸倒引当金繰入額	—	500
その他	1,219	479
営業外費用合計	8,390	7,619
経常利益	45,118	77,820
特別利益		
固定資産売却益	15,778	963,852
特別利益合計	15,778	963,852
特別損失		
減損損失	—	2,902
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	2,902
税金等調整前四半期純利益	60,897	1,038,770
法人税、住民税及び事業税	8,274	69,366
法人税等調整額	3,958	245,591
法人税等合計	12,233	314,958
四半期純利益	48,663	723,812
非支配株主に帰属する四半期純利益	389	2,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,274	720,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	48,663	723,812
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3,862	2,989
その他の包括利益合計	3,862	2,989
四半期包括利益	52,526	726,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,136	723,931
非支配株主に係る四半期包括利益	389	2,870

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	60,897	1,038,770
減価償却費	47,728	52,990
減損損失	—	2,902
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,310	270
受取利息及び受取配当金	△40	△35
支払利息	7,126	6,626
為替差損益 (△は益)	19	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	970,484	678,561
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△73,232	39,894
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△403,973	△638,420
仕入債務の増減額 (△は減少)	△252,362	289,240
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,152	9,162
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16,365	△1,014
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△56,874	1,503
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,901	36,298
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△1,840	△598
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△15,778	△963,852
前受金の増減額 (△は減少)	3,058	64,200
前渡金の増減額 (△は増加)	△4,662	4,980
未払費用の増減額 (△は減少)	△32,903	34,354
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,291	△107,288
その他	△15,852	△14,400
小計	178,078	534,141
利息及び配当金の受取額	39	34
利息の支払額	△7,181	△6,570
法人税等の支払額	△67,206	△44,231
法人税等の還付額	660	15,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,390	499,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△60,467	△1,230,079
有形及び無形固定資産の売却による収入	18,500	1,367,494
定期預金の純増減額 (△は増加)	△600	△600
出資金の払込による支出	—	△2,860
その他	△1,337	△11,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,904	122,518

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
長期借入れによる収入	50,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△70,262	△81,587
配当金の支払額	△53,982	△71,855
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,054	△4,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,299	142,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△119,832	764,267
現金及び現金同等物の期首残高	1,161,033	1,098,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,041,200	1,862,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(土地再評価差額金の取崩)

当社は、第1四半期連結会計期間において固定資産の譲渡を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、土地再評価差額金309,362千円を取崩し、同額を利益剰余金に振り替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,734,450	1,488,769	3,223,219	—	3,223,219
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,029	—	4,029	△4,029	—
計	1,738,479	1,488,769	3,227,249	△4,029	3,223,219
セグメント利益又は損失 (△)	△92,172	141,174	49,002	178	49,181

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額178千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,627,151	1,747,906	3,375,057	—	3,375,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,346	—	7,346	△7,346	—
計	1,634,498	1,747,906	3,382,404	△7,346	3,375,057
セグメント利益又は損失 (△)	△67,992	146,872	78,879	△2,873	76,005

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,873千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。